

スズキ 車種の系譜・・・その車は、どの流れの何代目か

横＝年代（図解①と同じ目盛り）／縦＝7つの系統。軽の流れがいちばん太く、そこにインドという柱が加わります。

スズキは同じ名前が長く続きます。中古で探すときは、名前ではなく年式で世代を確かめてください。

	～1920s 創業期	1930s 戦前	1940s 戦中戦後	1950s 再建	1960s 大衆化	1970s 規制	1980s 世界へ	1990s 転機	2000s 再編	2010s 立て直し	2020s 電動化
軽乗用 会社の背骨				1955 スズライト 量産軽乗用車の先がけ	1967 フロンテ	1979 アルト 価格の常識を変えた		1993 ワゴンR 軽の形を変えた		2013 スペーシア 2014 ハスラー	2020s 主力が継続 ⌚
軽商用 仕事を支える流れ					1961 キャリイ 軽トラックの定番		1982 エブリイ				2020s 現行が継続 ⌚
四駆 他に代わりがない流れ						1970 ジムニー 軽の本格四駆		1998 3代目 長く続いた世代		2018 4代目 納期が長い人気車	2020s シエラも人気 ⌚
小型・コンパクト 世界で売る流れ							1983 カルタス		2000 スイフト 2005 ワゴンR+ のちのソリオ	2016 イグニス	2020s スイフト／ソリオ ⌚
SUV 小さく作るSUV							1988 エスクード 小型SUVの先がけ		2006 SX4	2017 クロスビー	2020s 現行 ⌚
二輪・その他 会社を支えたもう一本	1909 織機の製造 すべての出発点			1952 パワーフリー号 二輪への入口	1962 マン島TT優勝			1999 ハヤブサ 二輪の看板			2020s 船外機なども主力 ⌚
海外（インド） もう一つの柱							1982 インドで合併生産	1990s 現地で最大手に	2000s 生産をさらに拡大	2010s 世界販売の多くが海外に	2020s インドでEVへ ⌚

🏆 いちばん太い流れ

軽乗用車。スズライトからアルト、ワゴンRへ。日本の家庭の足を70年支えてきた流れです。台数が多いぶん、中古でも選びやすくなっています。

💡 中古車を見るとき使い方

ジムニーとハスラーは中古でも値が落ちにくく、新車の納期が長いぶん中古が高いことがあります。急がないなら、相場が落ち着く時期を待つのも手です。

⚠️ 高速が多い人は慎重に

軽は税金も燃料代も安いですが、高速中心の使い方では力と静かさに不満が出やすいです。第7講の街乗りと高速の比率で判断してください。